

第3学年	家庭科	使用教材	教科書（開隆堂） 技術・家庭 家庭分野	家庭科担当 越智 愛果
------	-----	------	------------------------	----------------

<学習の目標>

生活に必要な基礎的・基本的な知識および技術の習得を通して、生活と技術とのかかわりについて理解を深め、進んで生活を工夫し創造する能力と実践的な態度を育てる。

授業のポイント	・準備物をそろえ、話をしっかり聞くこと。 ・提出物は期限内に提出する。自分の意見をしっかり持ち、積極的に発表する。
家庭学習について	・家ででの実践で力をつけることができる。自分なりに工夫して取り組む。 ・授業でやったことを家庭でも取り入れる。
テストについて	・1学期末、2学期中間試験を実施する。

評価の観点	判断基準について
生活と技術についての基礎的な知識を理解していると ともに、それらに係る技能を身につけている。	出席、忘れ物、授業態度、提出物、課題に対する取り組みの姿勢
生活や社会の中から問題を見出して課題を設定し、実践・評価・改善などを通して課題を解決する力を身につけている。	提出物や課題の内容、定期テスト
よりよい生活の実現や持続可能な社会の構造に向けて、生活を工夫し、実践しようとしている。	提出物や課題の内容、定期テスト

<年間授業計画>

学期	学習内容	つけさせたい力	課題
1	消費生活と環境 ・消費生活、環境についての課題と実践 ・持続可能な社会	消費者被害や権利と責任などについて理解できる。 消費行動が社会や環境に与える影響を理解できる。 世界の国々と連帯した持続可能な生活の創造について知る。	・ノート
2	家族・家庭生活 ・幼児の発達と生活	幼児の身体の発育、運動機能、言語、情緒、社会性の発達について理解することができる。	
	・幼児とのかかわり（1）	遊びの定義と環境作りについて考えることができる。 衛生面・安全面に配慮した遊び道具を考え、製作することができる。	・作品
3	・幼児とのかかわり（2）	幼児とのふれあい体験（ロールプレイ）から幼児の事について理解ができる。子どもの成長と地域について理解できる。	
	・3年間を振り返って	3年間を振り返る事ができる。	

<荒牧中学校 研究テーマ>

「自主・自立を促し、主体的に学び活動する生徒の育成

～言語活動の先にある協同的探究を目指して～

自主的に取り組める雰囲気づくりをし、生徒同士の意見交換によって課題を見つけ、その課題を解決できる授業づくりをする。